

## 被害予測の見直し

- ・地震・津波被害予測調査 102,384(新規) ⇒3頁
- ・河川津波遡上シミュレーション 25,000(新規) ⇒3頁

## 災害に強いまちづくりの推進

### ○地震減災対策の推進

- ・木造住宅の耐震化 136,160(102,850) **拡充**  
(申請が増えている木造住宅の耐震改修支援予算を拡充)
- ・ため池改修の加速化 496,213(330,719) **拡充** ⇒4頁
- ・災害に強い着実な基盤づくり 8,753,334(8,161,092) ⇒5頁  
(学校施設、福祉施設、道路橋梁等の耐震化や海岸整備の推進)

### ○津波減災対策の推進

- ・水門・樋門の遠隔化・自動化 273,000(105,000) ⇒6頁
- ・陸こうの廃止・常時閉鎖化 100,000(30,000) ⇒6頁

## 地域の防災体制づくり

### ○県民の防災意識の向上

- ・津波防災教育センターの活用推進 44,691(新規) ⇒7頁  
(映像コンテンツに東日本大震災の被害状況を取り入れ、防災意識を向上)
- ・出張！減災教室 14,827(21,975) ⇒7頁  
(学校や地域で地震体験車を活用した防災教育等の実施)

### ○学校における防災教育の充実

- ・防災教育の強化 11,749(-) ⇒8頁

### ○地域の防災力向上

- ・まけるな!!和歌山パワーアップ 150,000(50,000) **拡充** ⇒9頁

## 避難対策

- ・ライフジャケット等の配備 25,741(新規) ⇒10頁
- ・津波避難昇降路設置 25,000(新規) ⇒11頁
- ・災害時要援護者を支える地域を支援 5,770(新規) ⇒12頁
- ・障害者向け避難スペースの整備 29,550(新規) ⇒13頁
- ・避難路沿いの老朽建築物対策 ⇒14頁  
(避難路沿いの老朽建築物の倒壊防止対策について条例化を含め検討)

## 災害応急体制の整備

### ○救援・救助

- ・災害用備蓄品の充実 40,460(新規) ⇒15頁
- ・ヘリポート整備支援 35,000(新規) ⇒16頁
- ・広域医療搬送拠点の整備 28,863(新規) ⇒17頁

### ○情報収集・伝達手段の多様化

- ・津波・高潮監視カメラ設置 18,900(新規) ⇒18頁
- ・地上デジタル放送(dボタン)やラジオ放送を活用した情報伝達
- ・防災相互通信用無線機の整備 15,282(新規) ⇒19頁  
(災害に備え県(振興局)と市町村等関係機関の通信手段を多重化)

### ○初動・指揮体制の整備と対応力強化

- ・災害時緊急支援体制(移動県庁)整備 14,570(新規) ⇒20頁
- ・串本警察署代替指揮所等整備 20,582(新規)
- ・災害対応力強化 5,545(新規)  
(自衛隊など関係機関と連携した実践的な訓練や研修の実施)
- ・消防救急無線の広域化・デジタル化 272,100(新規) ⇒21頁
- ・住家被害認定士養成 2,000(新規) ⇒22頁

# 地震被害予測等の見直し

総務部 総合防災課  
県土整備部 河川課

平成24年度:127,384千円  
(新規)

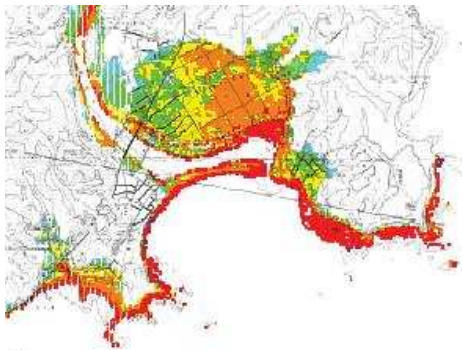
## 事業の概要

国の東海・東南海・南海地震の想定見直しに合わせ、和歌山県への地震の影響を再検証

### 地震・津波被害予測調査 (102,384千円)

国の中央防災会議の結論を受け、県として詳細な被害想定を実施するとともに、地震被害想定、津波浸水予測を基礎データとした市町村の地震・津波ハザードマップの作成を促進

#### <津波浸水予測図>



#### <地震被害想定>

- ・ 地震動予測
- ・ 津波予測
- ・ 液状化危険度予測
- ・ がけ崩れ危険度予測
- ・ 建物被害予測
- ・ 人的被害予測
- ・ 交通機関・ライフラインの被害予測 等

### 河川津波遡上シミュレーション (25,000千円)

国の被害想定及び技術基準の見直しに合わせ、河川津波遡上シミュレーションを実施し、津波の影響する河川区間、必要な高さなどを算出

国の被害想定及び技術基準の見直し

平成24年度 河川津波遡上シミュレーション

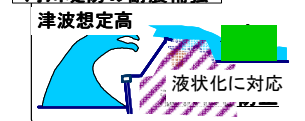
平成25年度 河川堤防の耐震点検・概略設計等

河口部で堤防かさ上げ



河川改修により津波を防御

河川堤防の耐震補強



津波想定高  
液状化に対応

## ため池改修の加速化

平成24年度：496,213千円  
(330,719千円)

### 現状・課題

対策が必要との認識が薄いことや  
地元負担の問題で危険なため池の解消が進まず

### 平成24年度

#### ○対策予算を拡充

24年度 496,213千円  
↑ (前年度比1.5倍)  
23年度 330,719千円

#### ○対策の加速化に向けた方針決定

市町村の考え方や地元の意向、受益農地の状況などを踏まえ、**地域の実情にあった対策**を検討

〔 全面改修のみならず、部分改修、廃止、貯水減等を推進 〕

平成24年度中に  
「ため池改修加速化計画(仮称)」を策定

地震や豪雨等による決壊から下流域の二次被害を防止するため、**対策予算を拡充して「危険度の高いため池の改修」を進めると同時に、「対策を加速化させるための計画」を策定**

- ①ため池対策予算の拡充（496,213千円）  
重大な被害が懸念されるため池の実態調査を実施するとともに、ため池の改修予算を拡充
- ②『ため池改修加速化計画(仮称)』の策定  
今年度中に地域の実情にあった計画を策定し、平成25年度以降のため池対策を加速化

平成25年度  
「ため池改修加速化計画」に基づく対策を実施

参考：ため池対策の現状（ため池総数 約5,500箇所）  
耐震診断調査や緊急点検調査の結果を踏まえ、規模の大きい受益面積2.0ha以上のため池約1,600箇所を対象に調査し、要対策ため池を292箇所と位置付けて、対策を推進

# 災害に強い着実な基盤づくり

企画部、福祉保健部、商工観光労働部、農林水産部、県土整備部、教育委員会、警察本部

平成24年度:8,753,334千円  
(8,161,092千円)

## 主な事業の概要

- ・ 緊急輸送道路や国道42号の代替道路の橋梁耐震化による通行確保
- ・ 既存護岸の嵩上げや補強等により、海岸保全施設などの機能を確保
- ・ 県立学校、体育館、医療機関等の公共施設の耐震化

### ○海岸保全施設の機能確保

護岸の嵩上げや補強等により、津波浸水被害を軽減

港湾、海岸、漁港における対象港17港  
(平成23年度までに4港完了)

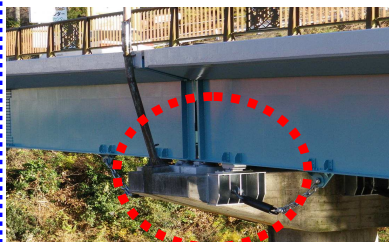
平成24年度8港実施予定

補強等の対象となる護岸 (例)



### ○橋梁の耐震化

大規模地震で大きい損傷のおそれがある橋梁:150橋  
(平成23年度までに65橋対策完了)  
平成24年度13橋実施予定



谷口橋  
(落橋防止工)



菖蒲橋  
(橋脚巻立工)

国道480号 橋梁耐震補強(有田川町)

### ○県立学校耐震化

耐震化が必要な209棟のうち  
23年度末で 204棟が改修済(見込)

平成24年度実施箇所

- ・ 和歌山高校(管理・特別・普通教室棟)の耐震化改修(~25)
- ・ 和歌山北高校(体育館・武道場棟)の耐震化改修



学校耐震化の例



# 水門・樋門等の自動化

県土整備部 河川課、港湾空港振興課  
港湾整備課

平成24年度:373,000千円  
(135,000千円)

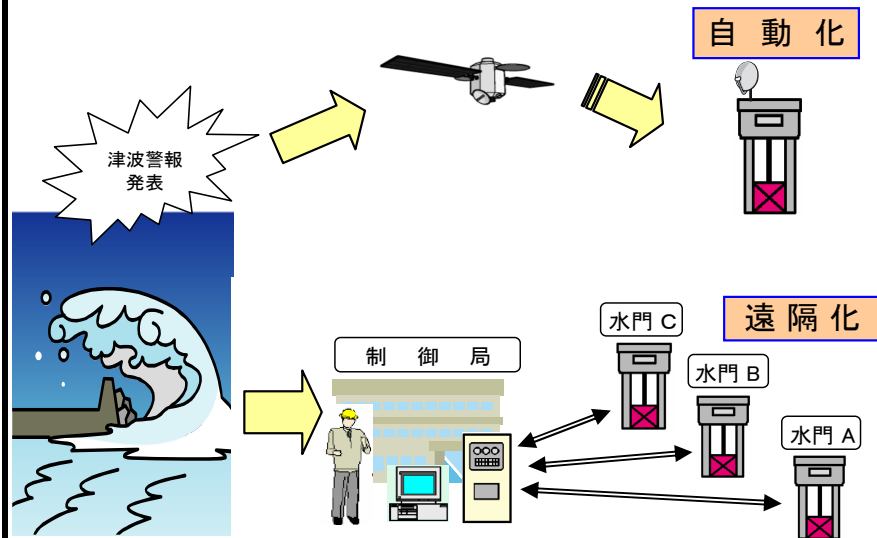
## 事業の目的・概要

操作者の安全を確保するとともに、地域住民の財産を守るため、水門・樋門の遠隔化・自動化、陸こうの廃止・常時閉鎖化を推進

### ①水門・樋門の遠隔化・自動化(273,000千円)

- 水門・樋門については遠隔化、自動化し、小規模な施設については、フラップゲート化を推進

※フラップゲート(外水位の上昇により自動的に閉鎖)



### ②陸こうの廃止・常時閉鎖化(100,000千円)

- 階段やスロープ設置による廃止や、利用状況に応じた常時閉鎖化を実施

※利用形態により廃止等できない箇所については、津波の到達時間及び閉鎖に要する時間等を考慮し、操作者の安全を確保するための運用方針を策定



## 県民の防災意識の向上

平成24年度：59,518千円

(21,975千円)

### 現状・課題

- ・東日本大震災では津波による被害が大きく、被災体験・知識の風化の危険性を再認識
- ・「地震・津波に関する県民意識調査」(H24.1)  
津波警報や大津波警報で避難した人 約2割

東海・東南海・南海地震の発生が予想される中、県民の防災意識が向上し、地域や家庭で防災対策が実行される必要

### 津波防災教育センターの活用推進 (44,691千円)

災害に対する備えを教育啓発する拠点である「津波防災教育センター」のコンテンツを充実

- ① 3Dシアターの新作等映像コンテンツの更新  
・東日本大震災の被害状況・教訓を取り入れ
- ② 展示コーナーの更新  
・昭和南海地震の体験談・東日本の映像を追加
- ③ 「津波防災の日」イベント  
・濱口梧陵翁の顕彰

津波の記憶を風化させない

### 出張！減災教室 (14,827千円)

学校や地域で地震体験車などを活用した体験型防災学習を実施



- ・防災教材による講習会
- ・地震体験車による体験学習  
(約100カ所を予定)

将来の地域防災リーダーを育成  
地域や家庭の防災意識向上

## 防災教育の強化

平成24年度：11,749千円

(－千円)

### 現状・課題

- 東日本大震災において釜石の小中学生が自主的な判断で安全な場所へ避難した事例は、本県の小中学生にとって学ぶべきことが多い教訓
- 高校生には、地域の防災リーダーとなるような、より高い防災意識が求められる



- 小中学生に対し、釜石の教訓を学ばせる防災教育が必要（23年度より取組を開始）
- 高校生に対し、地域と連携した実践的な防災教育が必要

### 小中学校における防災教育の強化

#### 新たな教材による授業の実施

釜石の教訓などを学ばせるための授業を平成23年度から県内の小中学校で実施

平成24年度は新しい教材を導入することで、自ら考え行動できる力を持った子どもを育てる指導を一層強化

#### 釜石で実践された津波避難3原則

- ・ 想定にとらわれるな
- ・ 状況下において最善を尽くせ
- ・ 率先避難者たれ

### 高校における防災教育の強化

#### 学校と地域が連携した防災スクールの実施

高校生に地域の防災リーダーとしての自覚を促し、より高い防災意識をもたせるため、地域住民とともに行う防災訓練など、学校と地域が連携した防災スクールを実施



# まけるな!!和歌山パワーアップ

平成24年度:200,000千円  
(50,000千円)

## 現状・課題

東海・東南海・南海地震等の大規模災害に備え、地域の特性や課題に合わせた対策が必要

**早期取組を推進するため、予算を拡充**

【参考】平成23年度 当初予算 5千万円+補正予算 1億円

## 避難・救助・減災対策 (150,000千円)

県民の避難・救助対策や地域の減災対策に取り組む市町村を総合的に支援

## 台風12号緊急対策 (50,000千円)

孤立のおそれのある集落等への通信手段確保を優先実施

- ・避難路整備や標識の設置
- ・避難所等への発電機設置
- ・資機材整備
- ・住民参加型の防災訓練
- ・家具転倒防止対策 など

補助率 1 / 2



避難路整備

- ・孤立集落等への無線機整備
- ・福祉関係施設等への防災ラジオ、戸別受信機整備

補助率 1 / 2

(孤立集落等への無線機整備は定額補助)



無線機整備



# ライフジャケット等の配備

総務部 消防保安課  
福祉保健部 福祉保健総務課  
教育委員会 健康体育課

平成24年度：25,741千円  
(新規)

## 現状・課題

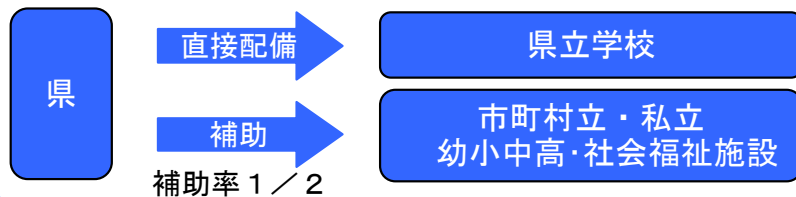
- 日高郡以南の沿岸部では津波到達までの時間が概ね30分未満と短く、特に学校や社会福祉施設での避難対策が課題
- 東日本大震災では、活動中の多くの消防団員が津波の犠牲となった
- 学校や社会福祉施設において迅速かつ安全に避難できる対策が必要
- 住民の避難誘導や救助活動など最前線で災害対応にあたる消防団員の安全確保対策が必要

## 学校・社会福祉施設における避難対策

### 対象

日高郡以南沿岸部の津波浸水予想区域に所在する学校や保育所などの社会福祉施設

### 事業スキーム



### ライフジャケットの配備支援

避難時の安全確保に万全を期すため、ライフジャケットの配備を支援



### 避難用車の配備支援

幼稚園や公立保育所において迅速な避難を行うため、避難用車の配備を支援



避難用車

## 消防団員の安全確保対策

<平成23年度>  
国3次補正で整備

<平成24年度>  
消防防災施設整備補助金のメニューに加え支援

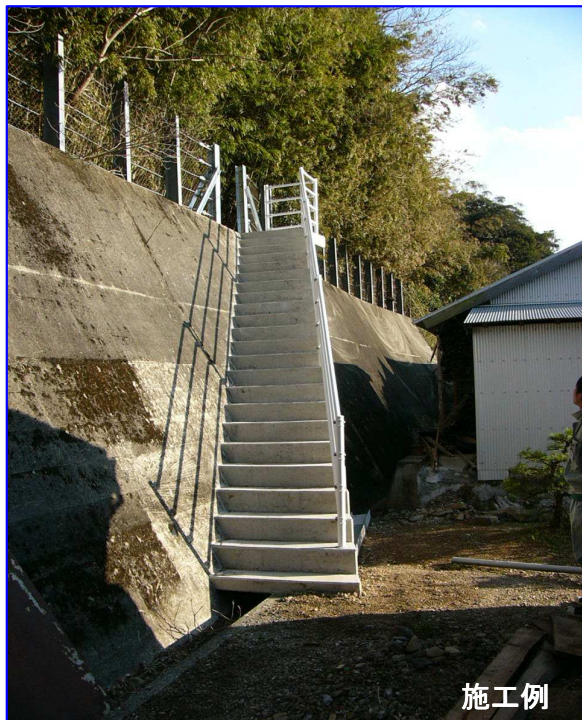
# 津波避難昇降路設置

県土整備部 砂防課

平成24年度:25,000千円  
(新規)

## 現状・課題

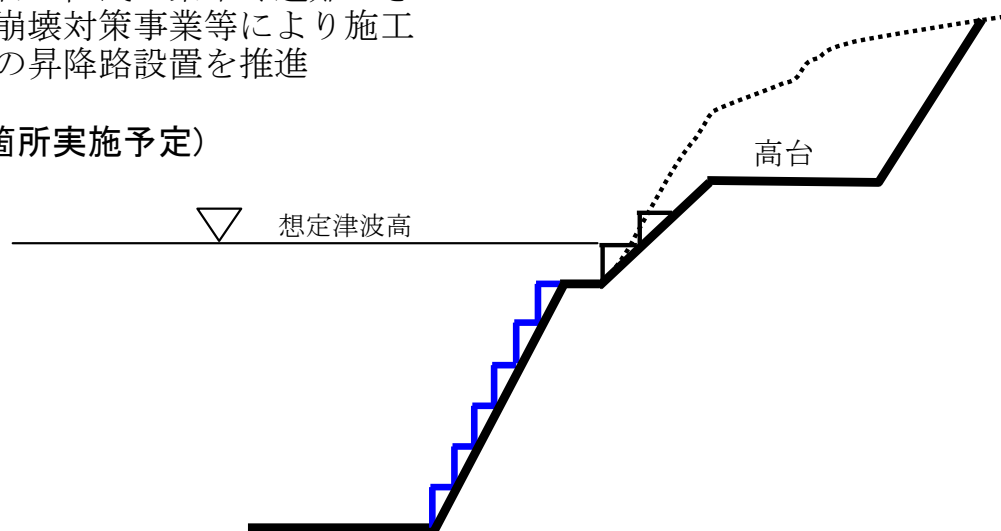
- ・大規模地震の発生により本県南部の沿岸部は、地震発生後数分で津波が到達するとされており、速やかな高台への避難が必要
- ・津波から逃れることができる高台があっても擁壁を昇ることができない箇所が存在



## 事業の内容

津波発生時に高台へ住民が素早く避難できるように、急傾斜地崩壊対策事業等により施工した既設の擁壁への昇降路設置を推進

(平成24年度 25箇所実施予定)



# 災害時要援護者を支える地域を支援

平成24年度:5,770千円  
(新規)

## 現状・課題

災害時要援護者の避難支援を担う支援者の負担が大きく、支援者の選定が進まない

地域の取組として要援護者を支援する体制づくりが必要

### 県

- ①支援者マニュアルの作成
- ②支援活動に必要な資機材の整備に対して補助(1/2)
- ③積極的に取り組む地域の表彰

### 市町村

「災害時要援護者  
避難支援プラン策定」

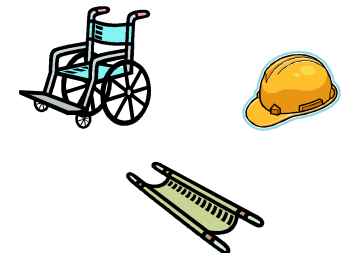
〈策定済み〉  
全体計画 27市町 個別計画 9市町

支援に必要な資機材の整備

### 自主防災組織、自治会等

支援者

災害時要援護者



#### 〈支援者マニュアルの内容〉

- ・ 基本的な防災知識
- ・ 支援者の役割
- ・ 避難支援の方法
- ・ 防災情報取得方法
- ・ 車いす、担架等使用方法  
など



## 障害者向け避難スペースの整備

平成24年度：29,550千円  
(新規)

### 現状・課題

- 東日本大震災では、体育館等を活用して設置される通常の避難所に逃れた障害者などの要援護者が、避難所生活になじめず体調を崩すなどの事例が相次いだ
- 障害者にとって、避難所では障害の程度に応じたスペースの確保などの配慮が特に求められる

配慮が必要な例

#### 肢体不自由の方

車いす使用者用スロープの設置、一般用トイレでの間口や通路の確保

#### 視覚障害のある方

壁沿いに行動できる、トイレに行きやすいなど、移動への配慮

#### 知的障害・発達障害のある方

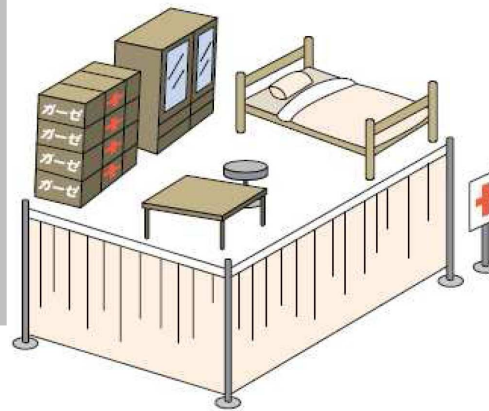
環境変化での混乱状態・行動への理解  
落ち着くスペースの確保

#### 精神障害のある方

人の少ない静かな環境・居場所の確保

### 〈取組内容〉

障害福祉サービス事業所や障害児施設に障害者等の受入が可能となる設備等を備えた防災拠点スペースの整備を支援



### 障害者等の避難に向けた取組

#### 〈市町村による福祉避難所の指定〉

15市町村115箇所を設置

#### 〈災害時等における地域の安心の確保に関する協定〉

災害発生時に障害者等の要援護者を受け入れるため、障害福祉サービス事業所等が市町村と協定を締結



## 避難路沿いの老朽建築物対策

県土整備部 建築住宅課

### 現状・課題

- ・ 大規模地震発生後、串本町では6分で津波が到達するとされており、本県の沿岸部では、速やかな避難が必要
- ・ 避難までの時間が短い中、避難路沿いの建物の倒壊により、避難路が閉塞されれば、甚大な被害に繋がることが予想される



避難路沿いの建築物の倒壊による道路の閉塞状況  
(阪神・淡路大震災)

著しく危険な建築物に対する建築基準法の積極的な活用や住民が安全に避難するための避難路が確保できるよう、条例化を含めた制度づくりを検討

# 災害用備蓄品の充実

福祉保健部 福祉保健総務課  
教育委員会 健康体育課

平成24年度：40,460千円  
(新規)

## 現状・課題

- 現在、県では災害に備え30万食の食料備蓄を計画的に実施中
  - 東日本大震災の発生直後、食料以外にも様々な生活用品が避難所等で不足
  - 特別支援学校では災害時、児童生徒が帰宅困難となる恐れ
- ⇒
- 東日本大震災の教訓を踏まえた備蓄品の充実
  - 特別支援学校での帰宅困難者を想定した事前対応

## ○ 新たな備蓄品の追加 (27,127千円)

保存性	備蓄品目	備蓄方法
長期保存が可能	飲料水、紙コップ、簡易トイレ	県が直接備蓄
長期保存が不可	粉ミルク、紙おむつ、生理用品 等	社会福祉施設と連携した在庫備蓄

### 備蓄数量の目安

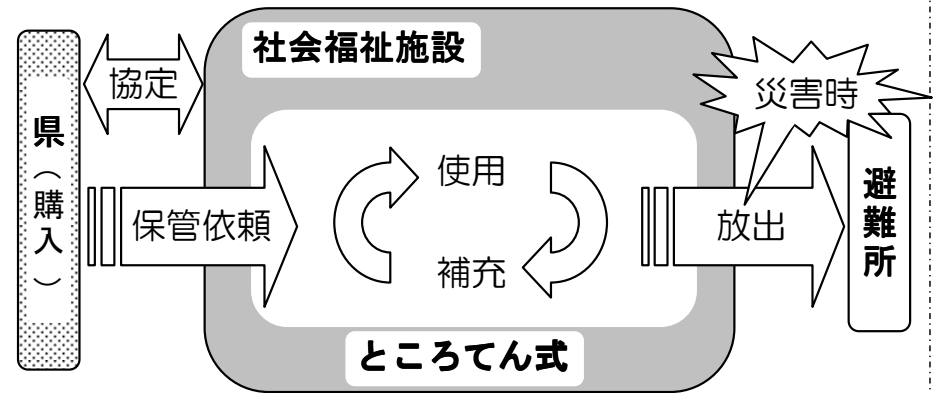
- ◆ 東海・東南海・南海地震の被害想定等から **30万人×3日分**の食料・飲料水の備蓄が必要
- ◆ 県・市町村・住民がそれぞれ**1日分ずつ**備蓄することで、救援物資が届かないとされる発災後3日間に備える

## ○ 特別支援学校への物資備蓄 (13,333千円)

特別支援学校の児童生徒が帰宅困難となった場合を想定し、12校に食料・飲料水・毛布等を備蓄

## ところてん式の備蓄

普段から粉ミルクなどを使用している社会福祉施設に保管を依頼し、施設が使用した分を補充してもらう  
**《ところてん式》**とすることで、使用期限切れによる廃棄を防げるため、無駄のない在庫備蓄が可能



## ヘリポート整備支援（孤立集落対策）

平成24年度：35,000千円

（新規）

### 現状・課題

- ・ 中山間地域が多い本県では、災害時に孤立する可能性のある集落が602ある
- ・ 465集落でヘリコプターの離着陸場がない（H23.6 防災・減災対策の総点検）

孤立集落への効率的な救援・救助活動のためには、山間部の複数の集落で活用できる場所にヘリポート整備が必要

### 市町村

- ①ヘリコプター離着陸場の適地調査
- ②ヘリコプター離着陸場の整備計画作成

- ③ヘリコプター離着陸場を整備

（県1／2補助）



協議

県

防災航空センター

ヘリコプター離着陸場の位置データ（緯度・経度）を県HPで公開

災害時には、県から関係機関へ、具体的な位置データによる指示・要請が可能

## 広域医療搬送拠点の整備

平成24年度：28,863千円

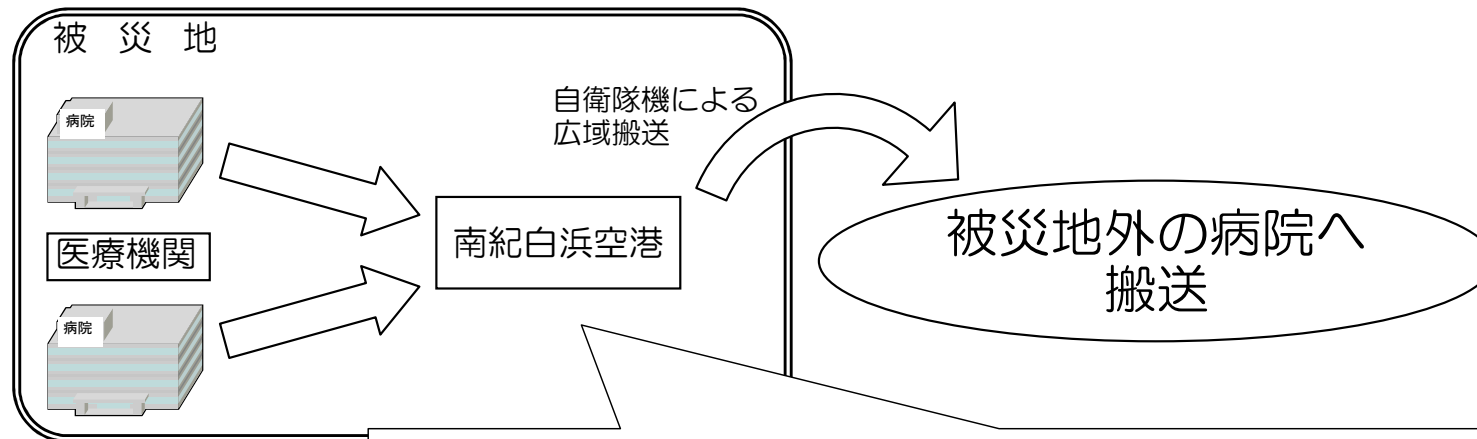
(新規)

### 現状・課題

- 大規模な災害が発生した場合、多数の負傷者が発生し、県内の医療機関だけでは対応が困難になることが予想される
- 広域医療搬送の拠点として南紀白浜空港が位置づけられているが、臨時医療施設の設置に必要な医療資機材の整備が不十分



南紀白浜空港に臨時医療施設を設置するための高度医療資機材等の整備が必要



### 広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）

被災地から広域搬送拠点に搬送された傷病者を被災地外へ長時間搬送するにあたり、患者の症状の安定化を図るための臨時医療施設



### 高度医療資機材

搬送用人工呼吸器  
搬送用モニター  
酸素ボンベ 等



# 津波・高潮監視カメラ設置

県土整備部 河川課

平成24年度:18,900千円  
(新規)

## 事業の目的

- 県管理河川の洪水・高潮に加えて津波の状況も監視可能なカメラを設置することにより、県民の避難に役立つ防災情報を取得
- カメラの映像から津波による被災状況を把握することにより、迅速な救援活動等に役立てる

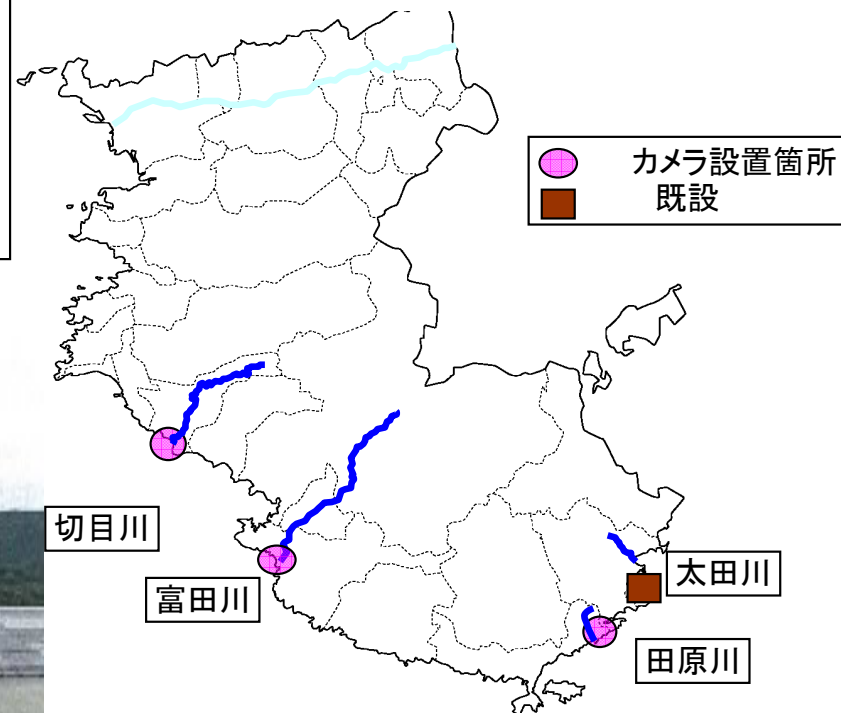
## 事業内容

- 南部の県管理河川（切目川、富田川、田原川）の河口付近3箇所を設置

ソーラーパネル、LED照明及び非常用電源による最低限必要な電源を確保



監視カメラ設置イメージ



※その他、国道42号などの管理者である国土交通省が設置しているカメラからの情報収集も可能。

# 防災相互通信用無線機の整備

平成24年度：15,282千円

(新規)

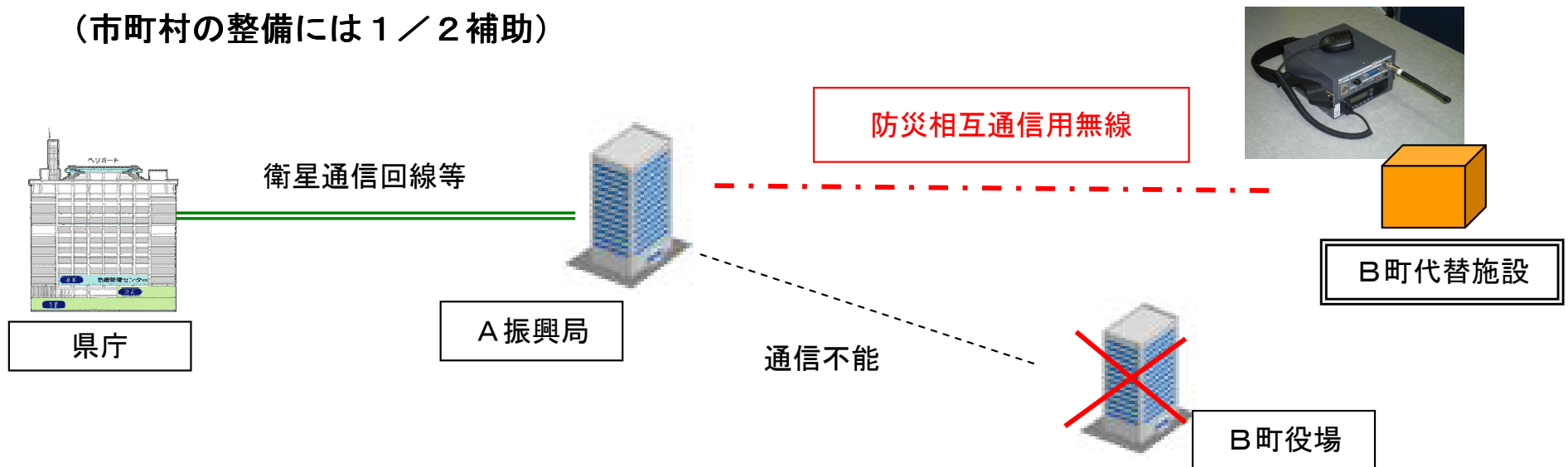
## 現状・課題

大規模災害時に市町村庁舎が被害を受けることにより、庁舎機能を喪失し、県と市町村との連絡通信手段がなくなる可能性

市町村庁舎が被災した場合の、市町村と県（振興局）や周辺防災関係機関との通信手段のバックアップが必要

各振興局と各市町村を結ぶ防災相互通信用無線機を整備し、新たな通信手段を確保

(市町村の整備には1/2補助)



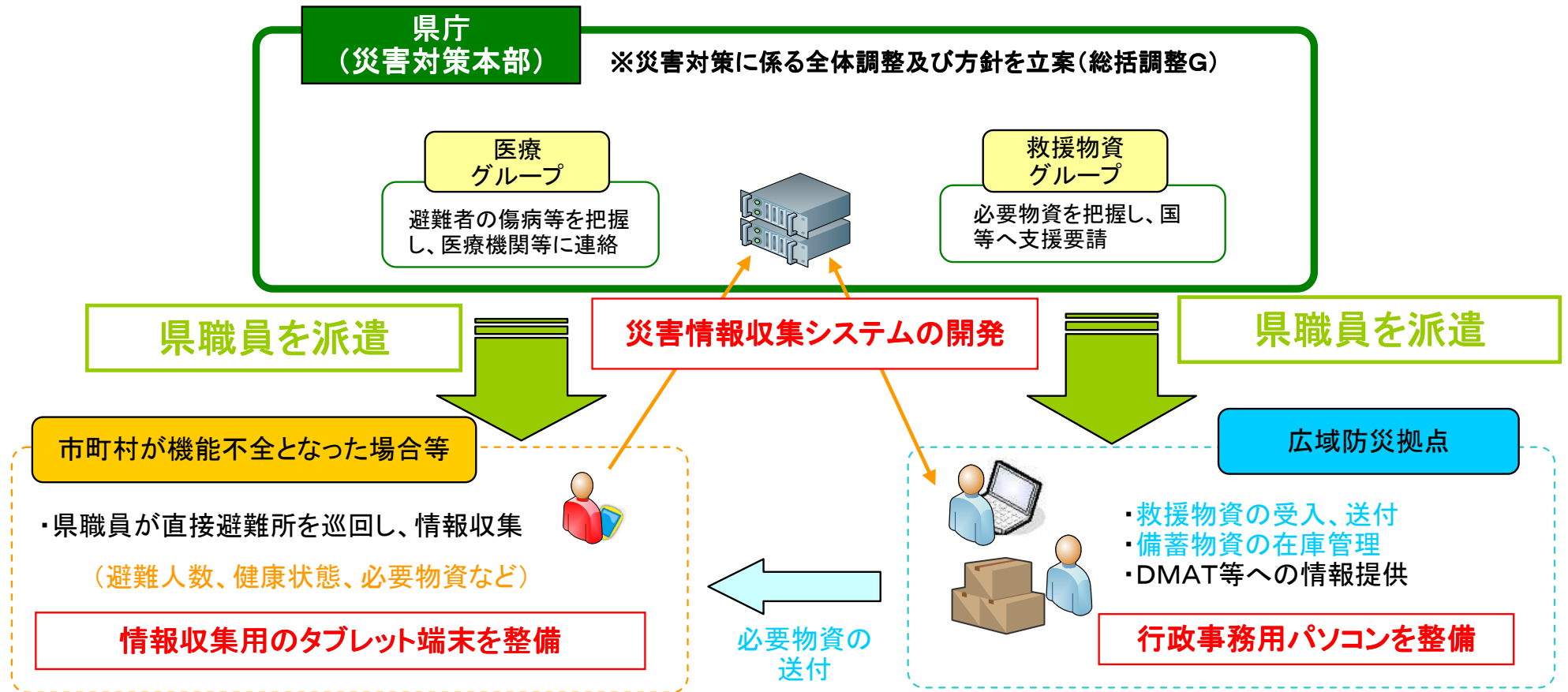
# 災害時緊急支援体制(移動県庁)整備

平成24年度:14,570千円  
(新規)

## 現状・課題

- ・ 万一、市町村が機能不全に陥った場合に被災地の情報を把握する体制が不十分
- ・ 広域防災拠点で迅速に災害対応を行うための業務環境が不足

◇被災地に県職員を派遣し、迅速な情報収集を行うための情報端末やシステムを整備



# 消防救急無線の広域化・デジタル化

平成24年度:272,100千円  
(新規)

## 現状・課題

- 各消防機関を結ぶ無線ネットワーク網が未整備 (有線回線が途絶した場合の通信手段がない)

◇大規模災害の発生に備えた消防救急無線の広域化とデジタル化をあわせて実施

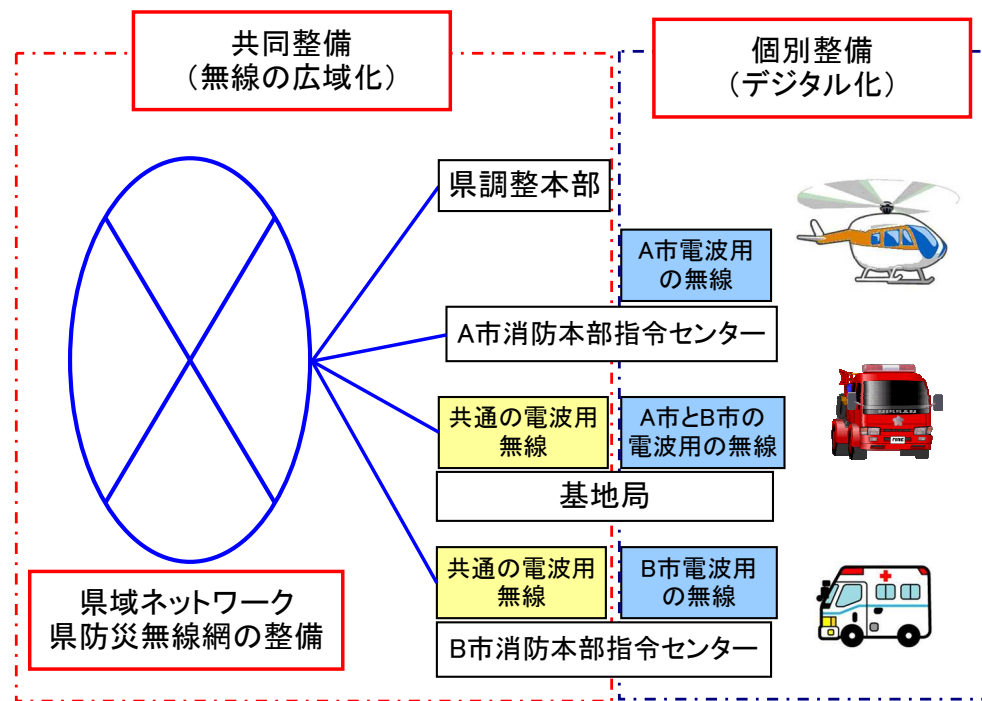
### 無線の広域化・デジタル化のメリット

- 県内消防本部に対する一斉指示や要請が実現
- 県域でのリアルタイムな情報伝達
- 有線回線のバックアップ機能
- デジタル化による通信の秘匿性向上
- デジタル化によりデータ通信が可能

災害・救急時の初動対応が迅速化

### ●整備スケジュール

	H24	H25	H26	H27	H28
設計					
整備工事					
運用開始					





# 住家被害認定士養成

平成24年度：2,000千円

(新規)

## 現状・課題

- 被災時に各種の被災者支援措置を受けるには、市町村長が発行するり災証明が必要
- 台風12号災害では、り災証明発行の前提となる住家被害認定調査が一時期に集中



今後の大規模災害に備え、公平で迅速な被害調査を実施できる体制が求められる

## 「和歌山県住家被害認定士制度」を創設

### 〈事業の概要〉

市町村・県職員及び建築士等を対象に養成研修を実施し、県が独自に「住家被害認定士」を養成

### 〔目標〕

200人／年  
5年で1000人の養成

### 〔研修内容〕

- ・住家被害の調査方法、認定方法
- ・被災者支援制度

市町村職員  
県職員、建築士等

養成研修

和歌山県住家  
被害認定士

### 〈役割〉

- 災害時に、県・市町村の要請を受けて認定調査を実施
- 調査員となる他の職員等への教育・訓練を実施

## 被災者支援措置を受けるまでの流れ

被害を受けた住家

被害認定調査

り災証明書

各種被災者支援措置

- ・被災者生活再建支援制度
- ・住宅応急修理制度 等